



◇本誌は、ワールドインベスターズ TV の出演者たちが、旬なコラムと独自視点で選ぶ WITV 特選動画の案内誌です◇

今週のセレクション／「混迷の 2009 年、マークモビアス氏独占インタビュー！」



ナビゲーター / 浅川 夏樹

「グローバル化時代の資産運用」～ハッピーリタイアメントを目指して主催

「世界で通用する企業へ投資し、グローバル展開をしている金融機関でお金を運用する」というように、日本だけでなく海外の企業や金融商品にも目を向け、多彩な投資戦略でグローバル化時代の資産運用を実践している個人投資家。著書に、「グローバル化時代の資産運用 (パンローリング)」、「銀座式、恋とお金の秘密手帳」(WAVE 出版)、「わたし、かわいいお金を海外投資でふやしました」(実業の日本社)。浅川夏樹の「[海外の気になる金融ニュース](#)」、[ロイター「攻めの不動産投資」](#)など、ブログも日々更新中！

こんにちは、浅川です。

先日、エマージングファンドの魔術師と呼ばれるテンブルトン社のマーク・モビアス氏とランチミーティングをいたしました。12:30～16:00 ぐらいまで興味深いお話を沢山お聞きました。動画は [WITV](#) で 4/24 に放映されます。

さて、この週刊 Web マガジンでは、録画されていない印象に残ったお話を幾つかご紹介します。わたしは、中国については楽観的に見ているので、その辺りをお伺いしました。

浅川: (マーク・モビアス氏) は、中国経済は 2 月に底を打ったと発言しておりますが、日本の投資家は中国に関してはネガティブです。新興諸国だけでなく、世界の中で中国企業が最も回復が早いのか？

モビアス氏: 中国は (巨額な) 外貨準備を持ち、消費は拡大傾向にある。

浅川: 外貨準備だけでなく、国有銀行には巨額の預貯金があり、中国は今のところ追加刺激のための資金は必要ないが、預貯金もインフラ整備の内需拡大に外国からの投資促進だけでなく、国内の預貯金も活用すると発表しています。

モビアス氏: その通りだ。中国はインドに比べてそのスピードが早い。(本土の) 上海 A 株市場は既に上がっているが、香港市場 (H 株) は、まだディスカウントされている。(上海 A 株市場は、リーマンショック前の水準まで既に上がっています)

浅川: 中国はすでに南アフリカやオーストラリアの資源会社に国有企業を通じてかなりのエクスポージャーがあります。



モビアス氏: その通り。ペトロチャイナ、サイノベックといった石油会社。中国アルミ (チャルコ) は、かなりの出資をしている。

浅川: 中国の干ばつがひどい。とくに被害がある一帯は小麦の産地なので小麦の先物価格に影響がでそうです。



Vol.4 「混迷の 2009 年、マークモビウス氏独占インタビュー!」
ナビゲーター / 浅川 夏樹 (Natsuki Asakawa)

モビウス氏: 当然、でるだろう。

浅川: Templeton Emerging Markets Fund と南アフリカファンドや資源エネルギーファンドは相関は高いかもしれません。

浅川: 東欧のデフォルトが懸念されるが、Eastern Europe Fund は、東欧・ロシアが含まれるが、ロシアについてどう思うか？

モビウス氏: 東欧は住宅ローンでかなりのトラブルを抱えている。ただし、IMF が提案している東欧の住宅ローンを EUR 建てにするのはいいアイデアだ。ロシアは外貨準備も多く有望だ。(企業としては、ルクオイルを気にしていました)

浅川: 日本人の投資家はインドを有望視する投資家が多いが、インドは経常赤字だがどう思うか？

モビウス氏: サティヤムの粉飾決算もあり、汚職が多い。中国に比べればインドの回復のスピードはゆっくりとしたものになるだろう。

浅川: ブラジル企業については、資源に注目しているのか？

モビウス氏: ブラジルは、ミックスだ。資源も魅力あるが、消費が拡大しているので通信、銀行も有望だ。

浅川: 以前、(パンローリングの投資フェア)で、「投資対象は国ではなく、企業で選らんでいる」と言われていたが、どのセクターが有望であり、企業はどこに注目しているのか？

モビウス氏: セクターでいえば、消費財 (Consumer) だ。そして、鉱山会社 (Mining)

浅川: 欧米の金融モデルはどう変化するのか？

モビウス氏: 欧州はまだ深刻なトラブルを抱えている。

浅川: 現在、債券 (Treasury) バブルだが、今後世界はどう変わるか？

モビウス氏: 相当なインフレになるだろう。(ドルの暴落と長期金利の上昇を示唆)

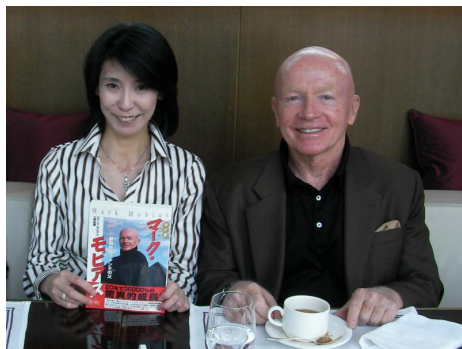
浅川: 日本人は金 (ゴールド) が好きだが、金価格に投資するよりも金鉱山関連企業に投資するほうがいいのか？

モビウス氏: 金鉱山関連企業は既に先渡し約束をしているので、このままの状況が維持できるかわからない。(ややネガティブでした)。金 ETF も発行体のリスクがあるので、大手を選ぶべき。





Vol.4 「混迷の 2009 年、マークモビウス氏独占インタビュー！」
ナビゲーター / 浅川 夏樹 (Natsuki Asakawa)



◆投資先企業の参考ファンド/ETF

[Templeton Emerging Markets Fund](#)

[Templeton Emerging Markets Smaller Companies Fund](#)

東欧については、香港の運用アドバイザーの四半期レポートでもかなりトラブルを抱えていることを伝えています。下記、一部抜粋

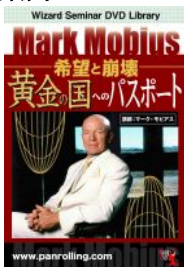
現在の東欧諸国の対外債務 GDP 比率は、ほとんどの国で 100%を超えており、エストニア、ラトビアとハンガリーなど一部東欧諸国では、200%を超えている。

自国通貨の下落はさらなる対外債務を抱えることになり、IMF が融資プログラムの実行に遅延するようであれば、早ければ 6 月にデフォルトに陥ると警告しています。 [⇒全文はこちらからご覧ください](#)

◆マーク・モビウス関連書籍のご案内



[マンガ マーク モビウス](#)
[新興国市場ファンドの父](#)
[\(パンローリング 1,680 円\)](#)



[マーク モビウス](#)
[DVD 希望と崩壊](#)
[黄金の国へのパスポート](#)
[\(パンローリング 6,090 円\)](#)



[マーク モビウス](#)
[国際投資へのパスポート](#)
[\(日本経済新聞 2,100 円\)](#)



[浅川 夏樹](#)
[グローバル化時代の](#)
[資産運用](#)
[\(パンローリング 1,575 円\)](#)

混迷の 2009 年を読み解く！マーク・モビウス氏独占インタビュー！

◆Mark Mobius◆

～ 以下の「マーク・モビウス氏、独占インタビュー」動画は、**2009 年 4 月 24 日 (金) 午前 0 時公開予定**です ～



[【マーク・モビウス氏独占インタビュー \(1\) ～プロローグ「新興国ファンドの父とは」～】](#)

【出演者】 石田和靖

【内容】 世界のマーケットに多大な影響を持つ、新興国ファンドの父「マーク・モビウス」とは一体何者なのか？石田氏とモビウス氏とのやりとり、また彼の人物像に迫る...[続きを見る](#)



[【マーク・モビウス氏独占インタビュー \(2\) ～金融危機後の日本、アジア、そして世界～】](#)

【出演者】 マーク・モビウス (テンプレートン・アセット・マネジメント代表)

【内容】 金融危機は大きなチャンスだとモビウス氏は熱く語る。しかしそれは、近い将来を見据えてこそはじめてチャンスと言える。日本、アジア、世界が今後どう動くの...[続きを見る](#)



[【マーク・モビウス氏独占インタビュー \(3\) ～いち早く、金融危機から脱却する国は？～】](#)

【出演者】 マーク・モビウス (テンプレートン・アセット・マネジメント代表)

【内容】 未曾有の金融危機で世界経済が萎縮する中、どんな国が、どんな企業が、どんな理由で、いち早く金融危機から脱却できるのか？リカバリーの早さが重要と...[続きを見る](#)



Vol.4 「混迷の 2009 年、マークモビアス氏独占インタビュー!」
ナビゲーター / 浅川 夏樹 (Natsuki Asakawa)



[【マーク・モビアス氏独占インタビュー \(4\) ～マーク・モビアス氏が注目する投資先～】](#)

【出演者】 マーク・モビアス (テンプレート・アセット・マネジメント代表)

【内容】 世界経済の相関性、金融危機からのリカバリーの早さ、そして各国独特の政治体制や経済政策の先々を読み解いた上で、モビアス氏が注目する投資先は...[続きを見る](#)



[【マーク・モビアス氏独占インタビュー \(5\) ～インタビューを終えて～】](#)

【出演者】 浅川夏樹、石田和靖

【内容】 約4時間に渡る対談が終わり、非常に中身の濃い話を聞くことができました。対談の中で登場した様々なテーマ、様々なキーワード。浅川氏と石田氏がまとめ...[続きを見る](#)

中国の国家戦略から読み解く投資のヒント

◆China Strategy◆



[【浅川夏樹、銀座から世界へ！～人民幣預金は期待できるか？～】](#)

【出演者】 浅川夏樹、田代秀敏 (大和総研主任研究員)

【内容】 日本人に人気の人民元 (幣) 預金。中国の切り上げのリターンを狙った投資方法です。しかし、これは期待していいものなのでしょうか？という根本的な問題を...[続きを見る](#)



[【浅川夏樹、銀座から世界へ！～中国の国家発展戦略について～】](#)

【出演者】 浅川夏樹、田代秀敏 (大和総研主任研究員)

【内容】 中国株投資をする上でぜひ抑えておきたいポイント。中国にどんな問題があり、中国政府は今度、どのような政策を取って行くのか？ 中国の海の 20%...[続きを見る](#)



[【浅川夏樹、銀座から世界へ！～中国の SWF 戦略について～】](#)

【出演者】 浅川夏樹、田代秀敏 (大和総研主任研究員)

【内容】 大きな力をつけている SWF (政府系ファンド) その中で中国の SWF は、中国投資有限責任公司。その運用額は、2000 億ドル。しかも、5 年以内に中東アブダ...[続きを見る](#)



[【浅川夏樹、銀座から世界へ！～中国への投資のポイント～】](#)

【出演者】 浅川夏樹、田代秀敏 (大和総研主任研究員)

【内容】 中国に投資するに当たってのポイントは何か？「中国は、日本ではない！」当たり前のようで勘違いしている投資家が多いと田代さんは言います。かつての...[続きを見る](#)

WITV セレクションに関するご意見・ご要望・お問い合わせ、またワールドインベスターズ TV の出演者へのお仕事依頼などは [こちら](#) からメッセージをお送りください。(送信先: witv@worldinvestors.tv)

- 免責事項 -

WorldInvestors.TV で配信する映像・資料 (以下「コンテンツ」という) に掲載されている情報は、お客様への世界経済の情報提供のために出演者ならびに出演者の所属企業 (以下「出演者」という) が作成されたものであり、証券やその他金融商品 (以下「金融商品」という) の売買の推奨や引受けの勧誘する目的としたものではありません。また出演者はこの資料で取り上げた内容を保証するための措置は何ら行っていない可能性があります。さらに、このコンテンツはいかなる投資家に対しても投資助言を含んだ内容ではなく、また出演者は当コンテンツを受信したというだけの理由でその受取人を顧客として取り扱うこともありません。

このコンテンツに掲載された情報や意見は、出演者が信頼できると判断した情報源から入手しておりますが、その正確性または完全性を保証するものではなく、また本コンテンツ中に掲載した資料を使用した場合に生じた損失については、その損失が特定の法律や規制のもとで生じたものでない限り、出演者および株式会社ザ・スリーピー (以下「当社」という) は一切の責任を負いかねます。このコンテンツに掲載された情報、意見および予想は、出演者がこの資料を作成した時点の判断を反映しており、変更される場合もある点をご了承下さい。

このコンテンツに掲載されたすべての内容 (情報、商標、デザインなど) の著作権等知的財産権は、当社および権利者に帰属するものです。したがって、これらを無断で転載、使用、複製、配布、改変等を行うことはできません。